

2月のイベントカレンダー

日	曜日	内容	掲載面
1日	水		
2日	木		
3日	金	法律相談	3面
4日	土	「西成大そうじ」×「大阪マラソン“クリーンUP”作戦」コラボ企画(～24日)	2面
5日	日	大腸がん検診、肺がん検診、特定健康診査	1月号
6日	月		
7日	火	BCG予防接種	3面
8日	水	音楽とおはなしのコンサート(子ども・子育てプラザ)	4面
9日	木	行政相談	3面
		移動図書館巡回日(南津守小学校)	4面
10日	金	乳がん検診、骨量検査、歯科相談	3面
		花と緑の相談	
		ひったくり防止カバー無料取付キャンペーン	1月号
11日	土・祝		
12日	日		
13日	月		
14日	火	移動図書館巡回日(北津守小学校)	4面
15日	水	大腸がん検診、肺がん検診、乳がん検診、骨量検査、特定健康診査	3面
16日	木		
17日	金	不動産相談	3面
18日	土	アートプロジェクト「作業場」(～19日)	3面
19日	日		
20日	月		
21日	火	法律相談	3面
22日	水	弁護士による「離婚・養育費」に関する専門相談	3面
23日	木・祝		
24日	金		
25日	土		
26日	日	日曜開庁	1面
		卓球教室・けん玉教室(子ども・子育てプラザ)	4面
27日	月		
28日	火	フードドライブ・ごみ減量3Rコーナー	2面
		“じんけん”いろは楽習	3面

区長の部屋 今宮中学校の生徒さんが取材に来てくれました

昨年の11月9日(水)、今宮中学校2年生の生徒さんが職場体験に来てくれました。広報担当のお仕事として取材することを体験。私、西成区長にインタビューをしていただきましたのでご紹介いたします。

Q 区役所の仕事をしていて大変と感じることは何ですか？

A 西成区役所は大阪市の一部で大きな組織なので、多くの意見を聞いて、とりまとめて実行していくことが大変だと感じます。

Q 区民の方に言われて嬉しかった言葉は何ですか？

A 区民の皆さんとよく顔を合わす機会がある中で、「気軽に話ができる区長なのでいいなあ」と言われたことです。身近な存在と感じてもらえていることが嬉しいです。



インタビューを終えて(感想)



大和田さん

最初は緊張したけど、話をしていくうちに慣れてきました。区長さんはとても優しい方で話しやすかったです。



矢藤さん

内容が難しいことも例えて説明していただいたので分かりやすかったです。初めてのインタビュー体験だったけど、とてもいい体験になりました。

我が町川柳

「にしなり我が町5月号」に掲載する川柳の作品を募集します。テーマは「こいのぼり」です。掲載作品は、広報紙の編集委員会にて選出します。

対象 区内在住・在勤の方

応募方法 ①郵便番号②住所(区内在勤の方は、勤務先住所・会社名も併せてご記入ください)③氏名(よみがな)④電話番号をご記入の上、ハガキ・FAXまたは直接区役所6階63番窓口まで。

締切 2月24日(金)

- 自作で未発表のもの。作品は返還しません。一人一点に限ります。
- 採用された作品の著作権は西成区役所に帰属します。

申込先 総合企画課 6階63番窓口
問合せ ☎557-8501 岸里1-5-20
総合企画課「我が町川柳」あて
☎6659-9684 ☎6659-2245

テーマ 恵方巻 (編集委員会選・敬称略)

物価高 巻きも細めが口にあい

長橋 須田 信行

恵方巻き それでは不足からあげも

千本南 高橋 明佳

今回のテーマは「多文化共生」です。

人権コラム

人口減少社会と外国人労働者

リー スイム
李 洙任さん(龍谷大学名誉教授)



コロナ禍の影響もあり、「2022年の出生数80万人割れの可能性」という衝撃的な統計結果が報道されました。「出生率が死亡率を上回るような変化がない限り、日本はいずれ存在しなくなるだろう。これは世界にとって大きな損失になる」と世界的な著名人が発言したように、人口減少は労働人口の減少を意味するだけでなく、社会福祉制度の崩壊にもつながり、社会を担う若い世代も明るい未来を描くことが難しくなります。

このような状況を食い止めるにはどうしたらいいのでしょうか？令和4年度版厚生労働白書によると、現役世代人口は2025年以降、さらに減少が加速するとされ、活力ある経済の維持を考えると女性や高齢者などの一層の労働参加が不可欠とされております。また、従来から人手不足が続いている医療・福祉分野においては、就業者数が増加しているものの、今後はさらに担い手が必要となる見込みであるとされています。このような状況に対応するためには、誰もが働きやすい労働環境の整備や、女性や高齢者など多様な働き手の就労促進のほか、外国人材の活用なども、取組みの一つとしてあげられています。

日本は他の先進国と同様、外国人労働者は社会を担う重要な人材としてみなし、彼らの獲得競争戦に加わっています。お隣の韓国も、日本と同じように介護支援や農業分野において労働者不足が深刻化していますが、K-POPや韓流の人気により、韓国を出稼ぎ国として選ぶ外国人が増えています。日本も過去には「おしん」というテレビ番組が中東諸国で大ヒットし、日本に好意的な印象をもつ中東出身の出稼ぎ労働者が多くいました。今では、日本のアニメが好きで、日本を選ぶ若い外国人労働者予備軍が渡日しています。このように移住労働者たちも、自分たちの未来を描きながらホスト国を選んでいきます。

日本では、1993年から技能実習制度が導入されています。外国人の若者への日本の技術の供与や教育が目的ですが、多くの問題を生み出しました。政府も状況改善に奔走していますが、雇用者による暴力、セクハラ、パスポートの取り上げや、外泊禁止、高額なアパートの家賃を請求するなど、実習生に関する事件や人権侵害の問題が多発しています。

JICA(国際協力機構)の報告書によると、日本がさらなる経済成長を達成するためには、2030年には419万人の外国人労働者が必要で、63万人が不足するとされています。昨今の円安がこの先も続くと、母国への仕送り額も減ることになるので、日本に魅力を感じる人が減ってくるかもしれません。「日本で永住したい」という人を増やすためには、すべての住民にとって魅力的な社会が必要となります。そのような社会づくりを実現したいものです。西成区にも多くの外国人住民がおられます。外国人住民という表現から「外国人」という言葉をなくすることも大切ですが、「外国人」と「日本人」の間にある心の壁を取り払うことが必要ではないでしょうか。

2月にしなりのジャガピーパーク

●もと津守小学校・幼稚園

●出張開催(丸数字)

晴明丘中央公園

詳細は、にしなりジャガピーパークのホームページなどでお知らせします。

問合せ 保健福祉課(子育て支援)

5階52番窓口

☎6659-9824

日	月	火	水	木	金	土
						4
5						18
12						
19						
26						

